

●「2025年 年頭所感」 会頭 佐賀 守

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より小松島商工会議所の運営にあたり、ご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類に移行して以降、長引くデフレ経済から脱却し経済成長への転換局面にあります。国の「水際対策」の緩和や外国為替市場の円安を背景に訪日外国人観光客が急増し、それにより国内の観光産業が好調で、インバウンド需要により国内の景気を底上げしています。また、製造業を中心とした輸出産業も活発で、国内経済の活況が顕著に表れています。しかし、長期間続く円安を起因とする原材料費・エネルギー価格の高騰等によりあらゆる商品・サービスの値上げが続いており、国民所得が追いついていかない状況にあります。国内で賃上げが叫ばれる中、賃金が上がっても消費者物価の上昇率を賄えない実質賃金の目減り状態が続いており、国民生活は決して豊かになつたと言えない状況です。

小松島商工会議所管内の状況を見ますと、昨年2月15日から「小松島市プレミアム付地域商品券」を小松島市からの委託事業として販売、3月1日から5月31日までの間、市内取扱加盟店舗の売り上げ上昇に寄与しました。5月には「小松島金長狸まつり」を雨の影響もありプログラムを短縮して開催しました。7月には「小松島港まつり」を盛大に開催することが出来ました。また、12月31日の大みそかには、「年末夢花火」を開催し市内に人の流れを作りました。大型クルーズ船の小松島への寄港は一昨年同様、年間20回以上の寄港回数を数え観光客を呼び込むことが出来ました。

市内の中小企業・小規模事業者は前述のプレミアム付き商品券で売り上げの底上げを行い、行政機関による補助金事業「持続化補助金」や「創業補助金」等の活用を積極的に行ってまいりました。商工会議所としては、地域経済の発展に向けて中小企業・小規模事業者と一体となり伴走型経営支援の一層の充実を図り、あらゆる事業施策・事業補助金等を探求し、市内経済の発展に努めたいと考えています。また、昨年11月の最低賃金980円（前年比84円UP）に伴い、各企業は賃上げ原資不足を抱えており、県からの助成金・補助金等を積極的に活用できる体制づくりを構築します。

結びに、本年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

●年末「夢花火」 in 小松島を開催

12月31日（火）小松島みなと交流センターKocolo（小松島市小松島町新港）周辺において、上記のイベントを開催しました。会場周辺ではマルシェやキッチンカーが出店、また阿波踊りやスタンプラリー、ビンゴゲーム大会を実施するなど大勢の家族連れなどで賑わいました。

午後8時からはイベントのフィナーレを飾る花火大会を実施。年の節目である大晦日に小松島市の夜空に咲く花火を通して皆様と共有し、2025年が皆様にとって良い年となるよう願いを込めた色とりどりの花火約1,000発を夜空に打ち上げ、観客を魅了しました。

